

本牧元町公園における遊具事故について

1 事故の概要

平成 19 年 6 月 20 日（水）午後 5 時 50 分ごろ、中区本牧元町の本牧元町公園において、木製のぶらさがり遊具が根元から折れ、この遊具で遊んでいた男子児童 2 名（両名とも 11 歳）が負傷するという事故が発生しました。

なお、児童の負傷の程度は、両名とも軽傷（打撲傷）でした。

<本牧元町公園概要>

所 在 地：中区本牧元町 13 番地

公 開 年 月 日：昭和 27 年 4 月 1 日（平成 4 年度に全面再整備工事を実施）

面積及び種別：1,451 平方メートル、街区公園

維 持 管 理：中土木事務所

<事故のあった遊具の概要>

名 称：ケンスイパワー（健康遊具。通称「背のばし」）

支 柱 寸 法：高さ 2m45cm、丸太の直径 16.5cm

材 質：米母（べいつが）削り丸太および鉄（懸垂用鉄棒等）

設 置 年 月：平成 5 年 3 月

製造メーカー：株三英（所在地：千葉県流山市）

2 事故発生までの経緯

- ① 中土木事務所では、所管する 69 公園について、直営整備班により 6 月 4 日から 12 日にかけて定期点検（概ね 2 ヶ月に 1 回）を実施しました。
本牧元町公園については 6 月 7 日に点検を行い、事故のあった遊具に軽微な傷みやぐらつきがあることを発見しました。
- ② 整備班からの報告を受け、下水道・公園係職員が、18 日に当該遊具を再確認し、近日中に修繕を行う必要があると判断しましたが、通常の使用については支障がないとして、使用禁止の措置をとりませんでした。
- ③ 事故直前の 20 日午後 4 時 30 分ごろに、市民から当該遊具がぐらついているとの通報があり、土木事務所では翌日確認することにしましたが、午後 5 時 50 分ごろに事故が発生いたしました。

3 事故後の緊急措置（一斉点検および結果）

この事故を受け、6月21日から22日にかけて、事故のあった遊具と同型のもの3基、類似のもの15基、計18基について、全て使用禁止にした上で、点検を実施しました。

点検の結果、

- ① 支柱木材の根元や地中部に傷み（腐食・破損・キズ等）が見られ、設置時期が古いもの5基につきましては、撤去いたしました。
- ② 支柱木材の主に地上部に傷みが見られるもの7基については、今後より詳細な調査を行い、必要な修繕または撤去を行うこととしました。
- ③ 異常の見られなかったもの6基については、25日に利用再開いたしました。

4 今後の対応

今回の事故を受け、6月26日に公園を管理する所属長会を緊急招集し、次のような対応について、周知徹底を図るとともに、環境創造局長名の文書により通知いたしました。

- ① 木製遊具に限らず全ての公園施設について安全点検の強化徹底を図ること。
- ② 点検において事故のおそれのある異常がわずかでも発見された場合には、直ちに使用禁止にするとともに、詳細の調査を行う等の必要な措置を講じること。
- ③ 組織内部の情報共有や意思決定プロセス、関係課との連絡体制について再確認を行い、安全確保への対応に一層の万全を期すこと。

また、今後は、平成14年6月に策定した「横浜市公園施設点検マニュアル」について、点検時に異常を発見した際の措置やその判断基準、連絡体制等を盛り込むなど、全面的に見直してまいります。



▲ 事故のあった遊具（ケンスイパワー） ※平成 15 年度撮影



▲ 遊具破損状況